

## 中国・新昌大型石炭火力発電プロジェクトへの参画について

～ J パワー 中国 3 件目の IPP 案件 ～

本日、電源開発株式会社（社長：中垣喜彦、以下 J パワー）は、中国電力投資集団公司（代表者：陸 啓洲、本社：中国北京市、以下、「中電投」）及び、深圳南山熱電股份有限公司（代表者：魏 文徳、本社：中国深圳市、以下、「深圳南山」）と、中国江西省・南昌市において大型高効率石炭火力発電プロジェクト（660MW×2 基、以下、「新昌案件」）を共同開発する事に、3 社間で合意に至りました。

J パワーは、2003 年から中電投とパートナーシップ協定を締結し、相互交流や新規の共同案件の協議等を進めて参りました。今般、合意した新昌案件は、中国において最新鋭の高効率な石炭焼き超々臨界圧発電プラントであり、中国の省エネルギー政策に合致した案件であるとともに、排煙脱硫装置・排煙脱硝装置の設置により環境に配慮した設備構成となっております。



江西新昌発電所（完成予想図）

J パワーが日本国内において培ってきた石炭焼き超々臨界圧発電プラントの開発、運営経験を活かすことにより、本案件の信頼性の維持、向上を目指すとともに、中国の環境保全にも貢献して参ります。また、中国では石炭焼き超々臨界圧発電プラントは、2006 年 12 月に初号機が運用開始されたものの未だ実績が少ないなか、本案件は中国で外資企業が始めて参画する超々臨界圧発電プラント案件となります。

なお、新昌案件を開発する事業会社に対し J パワーは 10%の出資を予定しており、今後、中国での政府関連許認可が整った段階で、同社は外資合弁企業となる予定です。

これまで、J パワーは 2000 年に中国山西省において天石資源総合利用火力発電プロジェクト（25MW×2 基）に参画、また昨年 11 月には中国陝西省において漢江一貫水力開発プロジェクト（60MW×3 基、45MW×6 基）に参画しており、今回の新昌案件は中国における 3 件目の投資案件となります。

本件により J パワーが出資する海外 IPP 事業は、6 カ国・地域で運転中 16 件、建設中 3 件となります。

以 上

<添付資料>

1. 新昌案件プロジェクトの概要の概要
2. J パワーの海外 IPP プロジェクト一覧